

第 175 回 日本循環器学会東北地方会

プログラム

会 期：令和4年12月3日（土）午前8時55分より

会 場：仙台国際センター

仙台市青葉区青葉山無番地 TEL：022-265-2211(代表)

第1会場：橘（2F）

第2会場：萩（2F）

第3会場：桜1（2F）

第4会場：桜2（2F）

第5会場：白檀（3F）

第6会場：小会議室1（1F）

会長 小丸 達也

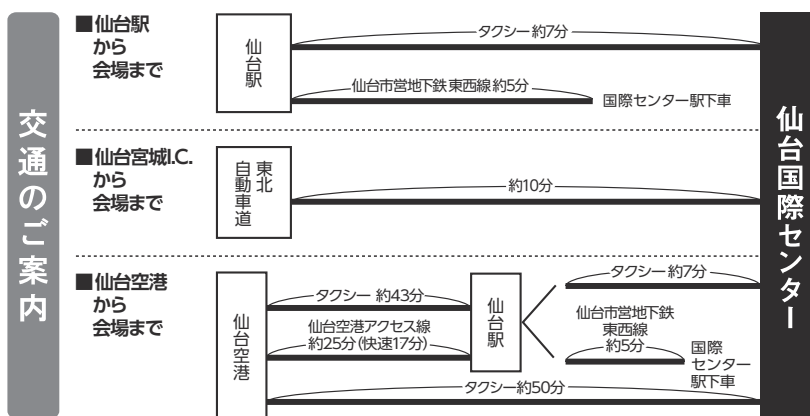
事務局：東北医科薬科大学第一内科（循環器内科）

〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目15番1号

Tel:022-290-8850 Fax:022-290-8860

- 参加登録：参加登録はウェブ上で行います。日循地方会ホームページから登録して下さい。令和4年11月1日から12月3日14時まで登録が可能です。当日現地では参加登録はできません。
 - 参加費及び支払い方法：医師/その他：3,000円、コメディカル：1,000円、学生・初期研修医：無料
参加登録及び会費納入はオンラインでのクレジット決済のみといたします。
 - 単位付与：学会単位：5単位、教育セッション1、2両方の聴講で3単位。
これらの付与は現地で行います。
 - 一般演題：発表は5分（予鈴4分）、質疑応答2分、
YIA及び学生・初期研修医AWARD：発表は7分（予鈴6分）、質疑応答5分
 - コンピュータプレゼンテーションによる発表のみとします。
 - Windows 版Powerpointで作成してください。
 - 動画の使用はYIAと学生初期研修医AWARDでのみ可能です。
 - 円滑な進行のため、発表者ツールのご利用はできません。
 - Macintoshはご自身のPCをご持参ください。（HDMIへの変換を必ずご持参ください）
 - 発表30分前までに、作成したデータをUSBメモリに入れてPC受付にお持ちください。
 - データファイル名には演題番号(半角)に続けて発表者の氏名(漢字)を必ずつけてください。
(例：10日循太郎)
 - 不測の事態に備えてかならずバックアップデータをお持ちください。※35 mmスライドでの発表はできません。
 - 本会場内に託児施設を設置いたします。
ご希望の方は東北支部HPをご参照の上、11月23日までにお申し込みください。
 - 今回の東北地方会では「医療安全・医療倫理に関する講演会」は実施いたしません。受講希望者は日本循環器学会会員ポータルサイトのe-learning で受講いただきますようお願いいたします。
- 追記：学会案内状・プログラムは原則として日本循環器学会納入者に限り発送いたします。
会場にクロークはございません。

交通のご案内



■仙台駅から仙台国際センターまでの交通機関

仙台市地下鉄東西線利用

料金210円（所要時間5分）

【乗車駅】

地下鉄東西線「仙台駅」（八木山動物公園行）

【降車駅】

地下鉄東西線「国際センター駅」（「南口1」出口より徒歩1分）

※会場へは会議棟1階地下鉄駅側入口よりお入りください。

なお、展示棟入口は利用不可となります。

タクシー利用

料金 約1,000円（仙台駅より所要時間約7分）

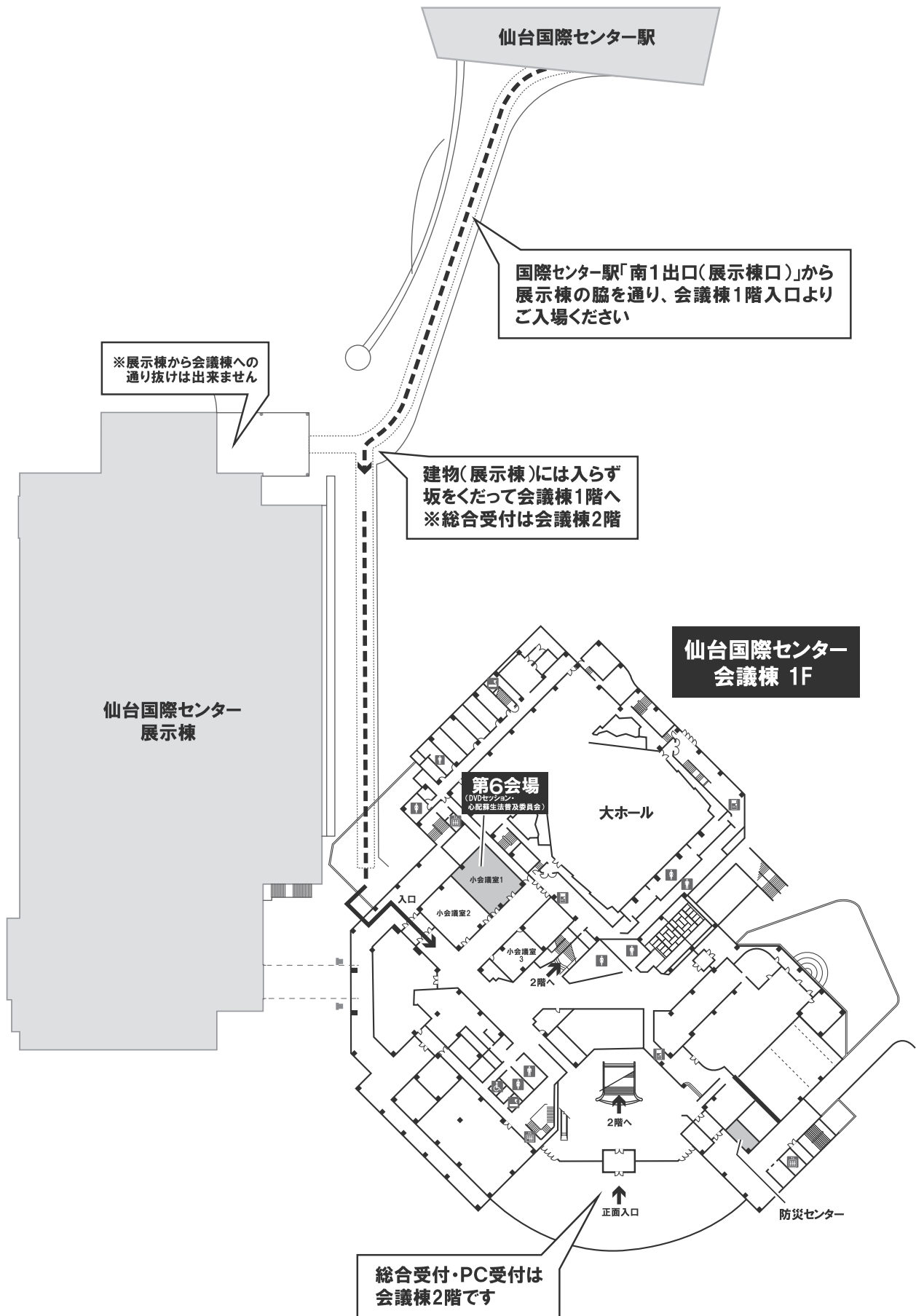
※会場へは会議棟1階正面入口よりお入りください。

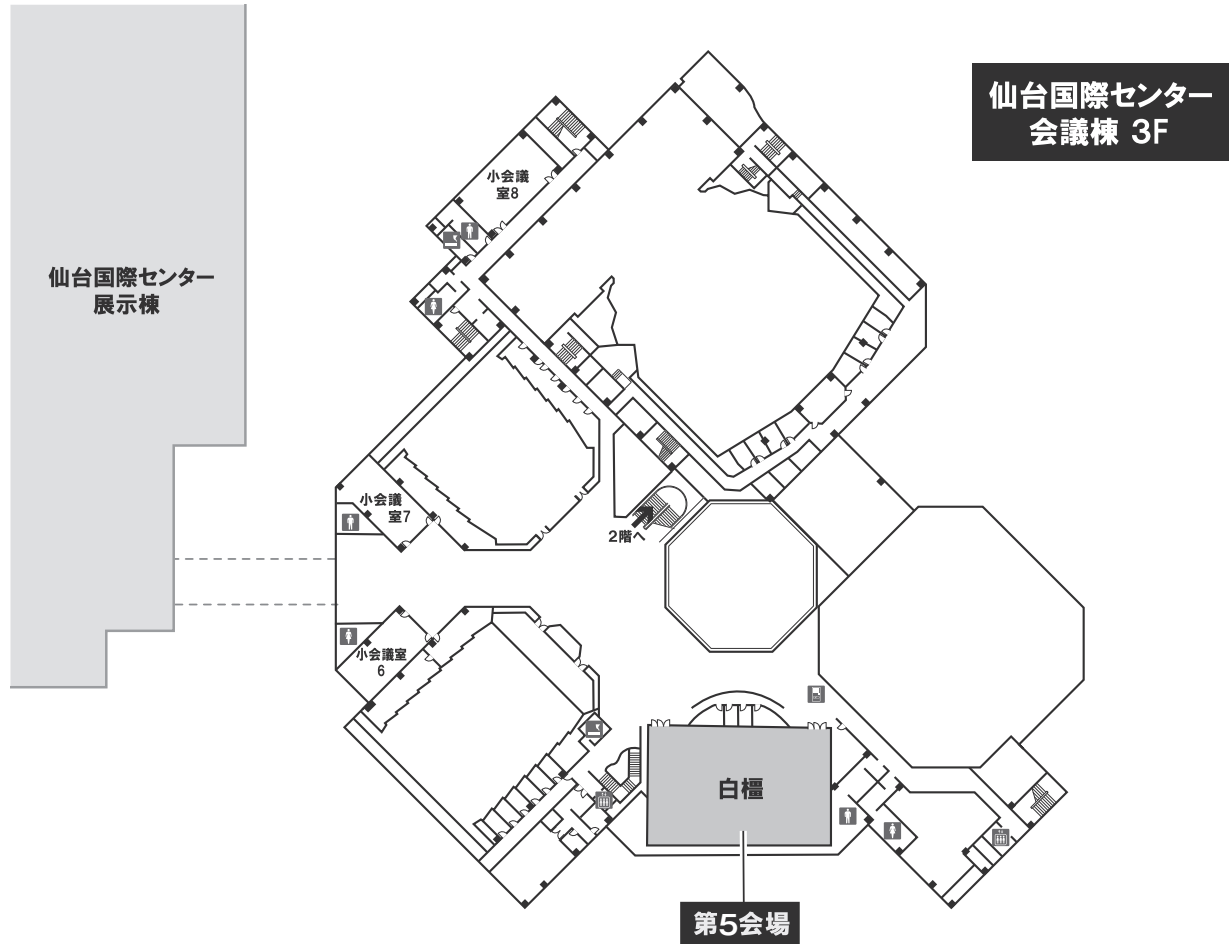
■自家用車

東北自動車道「仙台宮城IC」から所要時間約10分（仙台西道路経由「青葉城跡（仙台城跡）」方面の標識に従ってご走行ください）

※有料地下駐車場（収容台数96台）がございますが、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

会場案内図





プログラム (敬称略)

	第1会場 2F 橘	第2会場 2F 萩	第3会場 2F 桜1	第4会場 2F 桜2	第5会場 3F 白樺	第6会場 1F 小会議室1
8:00	8:15~ 受付開始					
9:00	8:55~ 開会あいさつ					
	9:00~10:00 YIA 症例発表部門 座長:小丸達也 (東北医科薬科大)	9:00~10:00 学生・初期研修医 AWARD 発表部門 座長:熊谷浩司 (東北医科薬科大)	9:00~9:35 不整脈1 座長:伊藤太平 沓澤大輔	9:00~9:35 心不全・弁膜症 座長:高濱博幸 佐藤和奏		
			9:35~10:03 不整脈2 座長:寺田 健 野寺 穰	9:35~10:17 心筋疾患・腫瘍1 座長:杉本浩一 熊谷亜希子		
10:00	10:00~11:00 YIA 研究発表部門 座長:小丸達也 (東北医科薬科大)	10:00~10:28 動脈・静脈疾患 座長:高橋悟朗 田中綾紀子	10:03~10:31 不整脈3 座長:中野 誠 宮沢 聡			10:00~10:30 学生・初期研修医 AWARD 審査会
		10:28~10:56 冠動脈疾患1 座長:越田亮司 富岡智子	10:31~11:06 アブレーション 座長:有本貴範 長谷部雄飛	10:17~10:59 心筋疾患・腫瘍2 座長:大原貴裕 鈴木秀明		10:40~10:55 心肺蘇生法普及委員会
11:00		10:56~11:17 冠動脈疾患2 座長:亀山剛義 遠藤知秀			10:50~12:00 ダイバーシティ 推進フォーラム	11:00~11:30 YIA 審査会
					自分流!循環器医の work style 座長:西崎史恵	11:30~12:00 支部役員会
12:00	12:00~12:30 支部評議員会 YIA 授賞式 学生・初期研修医 AWARD 授賞式					
13:00	12:40~13:25 教育セッションI 演者:川本俊輔 (東北医科薬科大学 心臓血管外科) 座長:小丸達也 (東北医科薬科大学)					
	13:25~14:10 教育セッションII 演者:田中哲洋 (東北大学腎・膠原病・ 内分泌内科学) 座長:安田 聡 (東北大学)					
14:00	14:20~15:20 学術セミナー1 演者:森本 剛 (兵庫医科大学) 演者:森野禎浩 (岩手医科大学) 座長:竹石恭知 (福島県立医科大学) 共催:プリストルマイヤーズ スクイブ株式会社・ ファイザー株式会社	14:20~15:20 学術セミナー2 演者:杉村宏一郎 (国際医療福祉大学) 座長:富田泰史 (弘前大学)	14:20~15:20 学術セミナー3 演者:清末有宏 (東京大学) 座長:渡辺昌文 (山形大学)	14:20~15:20 学術セミナー4 演者:三浦正暢 (岩手県立中央病院) 座長:齋木佳克 (東北大学心臓血管外科)	14:20~15:20 学術セミナー5 演者:永井利幸 (北海道大学) 座長:渡邊博之 (秋田大学) 共催:ヴィアトリス製薬 株式会社	
15:00						

YIA 症例発表部門 (第1会場: 2F 橋) 9:00 ~ 10:00

座長 小丸 達也 (東北医科薬科大学)

01 冠動脈に嵌頓した心臓腫瘍により急性心筋梗塞を発症し、ステント留置後に外科的摘除術へ繋がった一例

¹ 秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系 循環器内科学講座

² 秋田大学大学院医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系 心臓血管外科学講座

○小林 雄紀¹、関 勝仁¹、柳澤 和哉¹、三浦 健¹、岩川 英弘¹、佐藤 和奏¹、
佐藤 輝紀¹、高木 祐介¹、鈴木 智人¹、寺田 健¹、山浦 玄武²、山本 浩史²、
渡邊 博之¹

02 ヘパリン起因性血小板減少症を合併し長期 IMPELLA® 管理後に植込型補助人工心臓移植術を行った重症心不全の1例

¹ 福島県立医科大学 循環器内科学講座

² 福島県立医科大学 心臓血管外科学講座

○磯松 大介¹、佐藤 崇匡¹、上田 捷太¹、岡部 亮斗¹、鈴木 喜敬¹、廣坂 諒¹、
池田 彩乃¹、大橋 尚人¹、大原妃美佳¹、黒沢 雄太¹、和田 健斗¹、君島 勇輔¹、
佐藤 彰彦¹、清水 竹史¹、藤宮 剛²、横山 齊²、竹石 恭知¹

03 ECMO と経皮的肺動脈形成術で救命し得た高度肥満劇症型抗リン脂質抗体症候群合併重症 CTEPH の一例

¹ 東北医科薬科大学 循環器内科

² 東北医科薬科大学 救急科

³ 東北医科薬科大学 心臓血管外科

○佐藤 司¹、福井 重文¹、黒瀬 裕樹¹、長谷川 薫¹、菊田 寿¹、住吉 剛忠¹、
関口 祐子¹、亀山 剛義¹、熊谷 浩司¹、遠藤 智之²、川本 俊輔³、小丸 達也¹

04 左回旋枝近位部から冠静脈洞へ流入する冠動静脈瘻に起因する高拍出性心不全の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○金野 佑基、花田 賢二、對馬 迪子、妹尾麻衣子、市川 博章、西崎 史恵、
横山 公章、富田 泰史

05 化学療法が著効した子宮頸癌に併発した微小肺動脈腫瘍塞栓 (PTTM) の一例

東北大学病院 循環器内科

○粕壁 幸恵、矢尾板信裕、山本 沙織、佐藤 大樹、佐藤 遥、鈴木 秀明、
後岡広太郎、高濱 博幸、安田 聡

YIA 研究発表部門 (第1会場: 2F 橋) 10:00 ~ 11:00

座長 小丸 達也 (東北医科薬科大学)

06 拡張型心筋症における好中球細胞外トラップ (NETs) の意義: 心筋生検検体を用いたアプローチ

¹ 福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座

² 福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科

○小河原 峻¹、三阪 智史¹、市村 祥平¹、富田 湧介¹、佐藤 悠¹、三浦 俊輔¹、
横川 哲朗¹、阿部 諭史¹、佐藤 崇匡¹、及川 雅啓¹、小林 淳¹、義久 精臣^{1,2}、
八巻 尚洋¹、中里 和彦¹、石田 隆史¹、竹石 恭知¹

07 発作性心房細動に合併した洞結節機能障害を心房機能と心電図から予測する

秋田大学大学院 医学系研究科 循環器内科学講座

○戸嶋 優、寺田 健、田代 晴生、岩川 英弘、楡井 周作、安部 誓也、渡邊 博之

08 Impella における一酸化窒素吸入療法の効果

¹ 岩手医科大学 医学部 内科学講座 循環器内科分野

² 岩手医科大学 医歯薬総合研究所 生体情報解析部門

○那須 崇人^{1,2}、田口 裕哉¹、二宮 亮¹、橋本 直土¹、上田 寛修¹、後藤 巖¹、
肥田 頼彦¹、高橋 祐司¹、下田 祐大¹、木村 琢己¹、石田 大¹、森野 禎浩¹

09 冠攣縮性狭心症患者における冠微小血管拡張能の性差と予後に及ぼす影響に関する検討

東北大学大学院 医学系研究科 循環器内科学分野

○福井 健人、高橋 潤、羽尾 清貴、大山 宗馬、西宮 健介、神戸 茂雄、進藤 智彦、
白戸 崇、安田 聡

10 虚血性心疾患において Growth Differentiation Factor 15 は出血イベントと全死亡を予測する

山形大学 医学部 内科学第一講座

○小林 祐太、大瀧陽一郎、渡邊 哲、立花 紳吾、佐藤 淳耶、青野 智典、橋本 直明、
和根崎真大、沓澤 大輔、加藤 重彦、田村 晴俊、西山 悟史、有本 貴範、高橋 大、
渡辺 昌文

学生・初期研修医 AWARD 発表部門

(第2会場：2 F 萩) 9:00～10:00

座長 熊谷 浩司 (東北医科薬科大学)

11 JAK2V617F 変異を持つ本態性血小板血症に肺動脈性肺高血圧症を合併した1例

東北医科薬科大学 循環器内科

○奈良井大輝、福井 重文、佐藤 司、黒瀬 祐樹、長谷川 薫、住吉 剛忠、菊田 寿、
関口 祐子、亀山 剛義、山家 実、中野 陽夫、熊谷 浩司、小丸 達也

12 多彩な心合併症を呈した野生型トランスサイレチン心アミロイドーシスの一例

¹ 弘前大学医学部医学科 6年

² 弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○藤尾 静香¹、西崎 公貴²、濱浦 奨悟²、外山 佑一²、金城 貴彦²、石田 祐司²、
伊藤 太平²、木村 正臣²、佐々木真吾²、富田 泰史²

13 うっ血性心不全を呈した若年発症の特発性中性脂肪蓄積心筋血管症 (TGCV) の一例

¹ 石巻赤十字病院 教育研修センター、² 石巻赤十字病院 循環器内科

³ 東北大学病院 循環器内科、⁴ 大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学

○浅原 健人¹、高橋 徹也²、石垣 大河²、豊嶋 麻集²、片脇 航²、齋藤 悠司²、
豊島 拓²、山中 多聞²、後岡広太郎³、平野 賢一⁴

14 原発性抗リン脂質抗体症候群を背景に慢性血栓塞栓性肺高血圧症と特発性冠動脈解離を 発症した一例

平鹿総合病院

○武田久仁人、山中 信介、今泉 祐樹、堀川 達雄、小松 真恭、林崎 義映、
中嶋 壮太、深堀 耕平、武田 智、伏見 悦子、高橋 俊明、堀口 聡

15 重症肺高血圧、急性腎不全で発症した衝心脚気の一例

山形市立病院済生館循環器内科

○塚本 文彦、宮脇 洋、中田 茂和、屋代 祥典、山口 竜平

動脈・静脈疾患（第2会場：2F 萩）10:00～10:28

座長 高橋 悟朗（東北大学・心外科）
田中綾紀子（仙台厚生病院）

16 うっ血性心不全で入院後に腸骨動脈瘤破裂が判明した一例

東北医科薬科大学 内科学第一（循環器内科）

○菊田 寿、佐藤 司、黒瀬 裕樹、長谷川 薫、住吉 剛忠、関口 祐子、亀山 剛義、
山家 実、熊谷 浩司、小丸 達也

17 EVAR 後瘤径拡大開腹瘤縫縮術後の再拡大に対しステントグラフトによる relining を施行した1例

総合南東北病院 心臓血管外科

○緑川 博文、太田 和寛、植野 恭平、滝浪 学、堀田 明敬、菅野 恵

18 LDL アフェレーシスが上指にも著効した1例

星総合病院 循環器内科

○佐藤 栄佳、中村 裕一、佐藤 洋太、佐藤勇太郎、大河内 諭、君島 勇輔、國分 知樹、
越田 亮司、坂本 圭司、三橋 武司、木島 幹博

19 上静脈洞型心房中隔欠損，右上肺静脈還流異常の術後上大静脈狭窄に対する段階的バルーン血管形成術

岩手医科大学附属病院 循環器内科

○沼崎 大諄、上田 寛修、佐々木航人、芳沢美知子、熊谷亜希子、高橋 信、森野 禎浩

冠動脈疾患 1 (第2会場: 2F 萩) 10:28 ~ 10:56

座長 越田 亮司 (星総合病院)
富岡 智子 (みやぎ県南中核病院)

20 急性冠症候群患者の PCI における光干渉断層法の有用性の検討: 血管内超音波との比較

¹ 弘前大学 大学院 医学研究科 循環器腎臓内科学講座

² 弘前大学 大学院 医学研究科 救急・災害医学講座

○鹿内 駿¹、澁谷 修司¹、横田 貴志²、對馬 迪子¹、妹尾麻衣子¹、市川 博章¹、
西崎 史恵¹、花田 賢二¹、横山 公章¹、富田 泰史¹

21 当院で超高齢者に対して PCI を施行した症例の検討

県立新庄病院 循環器内科

○飯塚 敦士、奥山 英伸、宮本 卓也、結城 孝一

22 下肢骨折で松葉杖歩行の術者が施行したロボット支援下 PCI の一例

¹ 岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

² 岩手県立中部病院 循環器内科

○肥田 頼彦¹、石曾根武徳²、後藤 巖¹、森野 禎浩¹

23 心原性ショックに併発した重症急性腎障害に対し、腎代替療法を施行せず良好な経過を辿った 1 例

¹ 仙台市立病院 臨床研修医

² 仙台市立病院 循環器内科

³ 仙台市立病院 腎臓内科

○中村 瑠美¹、鈴木 啓資²、渡部ともみ²、山陰 浩³、古田 恭平³、宮内健一郎³、
鈴木 舞²、諸沢 薦²、中潟 寛²、青木 恒介²、佐藤 英二²、山科 順裕²、
宮下 武彦²、三引 義明²、石田 明彦²、山本 多恵³、八木 哲夫²

冠動脈疾患2 (第2会場:2F 萩) 10:56～11:17

座長 亀山 剛義 (東北医科薬科大学)
遠藤 知秀 (八戸市立市民病院)

24 COVID-19罹患後に発症した左冠動脈主幹部のSTEMIの一例

寿泉堂総合病院

○岡部 亮斗、水上 浩行、谷川 俊了

25 IgG4関連疾患による冠動脈周囲炎の治療前後のIVUS, OCT評価

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野

○沼畑 亘、上田 寛修、沼崎 大諄、高橋 信、石田 大、森野 禎浩

26 当院における非ST上昇型心筋梗塞症例の特徴と比率の変遷

仙台市医療センター仙台オープン病院 循環器内科

○浪打 成人、小野寺健太、砂村慎一郎、谷田 篤史、尾形 剛、野田 一樹、
小山あずさ、瀧井 暢

不整脈1 (第3会場: 2F 桜1) 9:00 ~ 9:35

座長 伊藤 太平 (弘前大学)
沓澤 大輔 (山形大学)

27 イバブラジンが有効であった気管支喘息を合併する不適切洞頻脈の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○千葉 元貴、石田 祐司、外山 佑一、西崎 公貴、金城 貴彦、伊藤 太平、木村 正臣、
佐々木真吾、富田 泰史

28 キニジンが奏功していたと考えられるQT短縮症候群の一例

東北大学病院 循環器内科

○山本 惟彦、中野 誠、伊藤 知宏、佐藤 宏行、千葉 貴彦、長谷部雄飛、野田 崇、
安田 聡

29 低リン血症はU波とQU延長に関連する

国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科

○松田 航星、篠崎 毅、高橋 佳美、笠原信太郎、江口久美子、玉淵 智昭、山口 展寛、
尾上 紀子

30 群発頭痛治療が誘因と考えられた心室細動を発症したJ波症候群の一例

秋田大学 大学院医学系研究科 医学専攻機能展開医学系 循環器内科学講座

○久米 翔弥、輝紀、阿部 健、仙場 志保、加藤 宗、寺田 健、渡邊 博之

31 バルサルバ洞動脈瘤の圧迫による左房前壁低電位領域を必須緩徐伝導路としたリエントリー性心房頻拍の一例

¹ 仙台厚生病院 心臓血管センター 不整脈科

² 仙石病院 心臓血管センター 循環器内科

○野村 丈紘^{1,2}、宗久 雅人²、熊澤 大記¹、小野寺康介¹、水野 陽介¹、山下賢之介^{1,2}

不整脈2 (第3会場: 2F 桜1) 9:35 ~ 10:03

座長 寺田 健 (秋田大学)
野寺 穰 (福島県立医科大学)

32 電気生理学的検査でVFの誘発はなかったがelectrical stormで救急搬送されたBrugada症候群の一例

山形大学医学部附属病院 第一内科

○小山 響子、橋本 直明、和根崎真大、大瀧陽一郎、沓澤 大輔、加藤 重彦、
田村 晴俊、西山 悟史、高橋 大、有本 貴範、渡邊 哲、渡辺 昌文

33 Epicardial Connectionの存在を視覚化できた通常型心房粗動の一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○外山 佑一、木村 正臣、伊藤 太平、西崎 公貴、金城 貴彦、石田 祐司、
佐々木真吾、富田 泰史

34 右室同期左室ペーシングが有効だった間欠性左脚ブロックの一例

福島県立医科大学附属病院 循環器内科学講座

○大和田光司、山田 慎哉、片平 正隆、根橋 健、野寺 穰、金城 貴士、竹石 恭知

35 進行性乳癌への放射線治療のためリードレスペースメーカーへ変更した完全房室ブロックの一例

岩手県立中央病院循環器内科

○近藤 正輝、澤田 駿、船木 崇裕、安齋 潤、小丸 航平、薄田 海、加賀谷裕太、
齋藤 大樹、佐藤謙二郎、金澤 正範、三浦 正暢、遠藤 秀晃、中村 明浩

不整脈3 (第3会場: 2F 桜1) 10:03 ~ 10:31

座長 中野 誠 (東北大学)
宮沢 聡 (仙台循環器病センター)

36 左脚ペーシングリードを挿入中に胸痛を訴えた高度房室ブロックの1例

大崎市民病院

○山中 真一、佐竹 洋之、田中 俊次、辻 薫菜子、山内 毅、圓谷 隆治、竹内 雅治、
岩渕 薫

37 Needle's Eye Snare を用いた Spaghetti twisting technique で完全抜去に成功した リード不全の一例

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○貝森 亮太、岩川 英弘、畠山 葉月、小笠原暢宏、田代 晴生、寺田 健、渡邊 博之

38 バルーンカテーテルを併用し急峻に分岐する静脈に左室リードの挿入に成功した1例

¹ 仙台厚生病院 不整脈科

² 仙台厚生病院 循環器内科

○熊澤 大記¹、山下賢之介¹、水野 陽介¹、小野寺康介¹、野村 丈紘¹、多田 憲生²

39 当院における皮下植込み型除細動器植込み症例の検討

東北医科薬科大学 内科学第一 (循環器内科)

○住吉 剛忠、佐藤 司、黒瀬 裕樹、長谷川 薫、菊田 寿、関口 祐子、亀山 剛義、
福井 重文、山家 実、中野 陽夫、熊谷 浩司、小丸 達也

アブレーション（第3会場：2F 桜1）10：31～11：06

座長 有本 貴範（山形大学）
長谷部雄飛（東北大学）

40 持続性心房粗細動に対する高周波カテーテルアブレーション後にたこつぼ型心筋症による心不全を発症した1例

福島県立医科大学 会津医療センター 循環器内科

○宗像 慧太、星野 弘尊、菅井 義尚、玉川 和亮、鶴谷 善夫

41 バルサルバ洞拡大の左冠尖の左心房接触部位に起源と示唆された持続性心房細動の1例

栗原中央病院 循環器内科

○矢作 浩一、高田 剛史、深澤恭之朗、平本 哲也

42 心外膜側からの焼灼が奏功した、進行性不整脈源性右室心筋症を背景とする心室頻拍の1例

¹ 東北医科薬科大学 内科学第一（循環器内科）

² 仙台オープン病院 循環器内科

○黒瀬 裕樹¹、熊谷 浩司¹、佐藤 司¹、長谷川 薫¹、住吉 剛忠¹、菊田 寿¹、
関口 祐子¹、亀山 剛義¹、福井 重文¹、山家 実¹、中野 陽夫¹、野田 一樹^{1,2}、
小丸 達也¹

43 CTによる解剖把握に基づくマッピングがアブレーションに有用であった心房頻拍、心房性期外収縮の1例

東北大学病院 循環器内科

○伊藤 知宏、中野 誠、長谷部雄飛、佐藤 宏行、千葉 貴彦、山本 惟彦、野田 崇、
安田 聡

44 Electrical storm に対して集学的治療を行った心臓限局性サルコイドーシスの一例

¹ 仙台循環器病センター 循環器内科

² 仙台循環器病センター 麻酔科

○畠山 岳¹、宮澤 聡¹、塩味 正隆¹、田中 直之¹、時岡紗由理¹、高橋菜々子²、
植松 庄子¹、小林 弘¹、藤井 真也¹、八木 勝宏¹、内田 達郎¹

心不全・弁膜症（第4会場：2F 桜2）9：00～9：35

座長 高濱 博幸（東北大学）
佐藤 和奏（秋田大学）

45 認知機能障害を併発する高齢心不全患者の予後とそれに与える因子の検討

みやぎ県南中核病院 循環器内科

○玉那覇有亮、富岡 智子、小松 茉由、武内 広樹、高橋 亮吉、井汲 陽介、
田中 修平、伊藤 愛剛、塩入 裕樹

46 慢性心不全患者における大腿骨骨折の既往と臨床的特徴の検討

公立置賜総合病院

○水戸 琢章、新関 武史、土屋 隼人、熊谷 遊、岩山 忠輝

47 心不全非代償期に施行した心房細動のカテーテルアブレーションにより改善を得た重症虚血性心筋症の一例

岩手県立中央病院 循環器内科

○小丸 航平、金澤 正範、三浦 正暢、船木 崇裕、澤田 駿、安斎 潤、薄田 海、
加賀谷裕太、齊藤 大樹、佐藤謙二郎、近藤 正輝、遠藤 秀晃、中村 明浩

48 Heyde 症候群と肝硬変を合併した大動脈弁狭窄症患者に対して経カテーテル的大動脈弁置換術を施行した一例

¹ 東北大学病院 循環器内科

² 東北大学病院 心臓血管外科

○小沼 翔¹、羽尾 清貴¹、西宮 健介¹、神戸 茂雄¹、勝田 祐子¹、進藤 智彦¹、
大山 宗馬¹、菊池 翼¹、白戸 崇¹、熊谷紀一郎²、高橋 潤¹、齋木 佳克²、
安田 聡¹

49 低流量低圧較差重症 AS による繰り返すうっ血性心不全に TAVI が著効した一例

福島県立医科大学 医学部 医学科 循環器内科学講座 循環器内科

○西浦 司人、及川 雅啓、佐藤 悠、横川 哲朗、佐藤 彰彦、小林 淳、義久 精臣、
八巻 尚洋、中里 和彦、石田 隆史、竹石 恭知

心筋疾患・腫瘍1（第4会場 2F 桜2）9：35～10：17

座長 杉本 浩一（福島県立医科大学）
熊谷亜希子（岩手医科大学）

50 右室拡大、心室頻拍およびイプシロン波から不整脈原性右室心筋症が疑われた心サルコイドーシス

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

○関 みちる、田代 晴生、三浦 健、若林 飛友、佐藤 和奏、寺田 健、渡邊 博之

51 失神歴のある洞不全合併3枝ブロックに対しリードレスペースメーカを植込んだ ATTRwt アミロイドーシスの一例

¹ 八戸市立市民病院 循環器内科

² 弘前大学医学部附属病院 循環器腎臓内科学講座

○堀内 大輔¹、須藤 芽維²、廣澤 瞬¹、成田 憲紀¹、遠藤 知秀¹、松井 宏光¹、
佐々木真吾²、富田 泰史²

52 薬物療法による心機能向上が一過性であった筋強直性ジストロフィーの1例

¹ 国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科

² 国立病院機構 仙台医療センター 臨床研修部

○石塚 滉²、山口 展寛¹、松田 航星¹、高橋 佳美¹、笠原信太郎¹、江口久美子¹、
玉瀧 智昭¹、尾上 紀子¹、篠崎 毅¹

53 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を契機とした好酸球性心筋炎の一例

福島県立医科大学 循環器内科学講座

○佐久間裕也、阿部 諭史、小河原 峻、遠藤圭一郎、清水 竹史、八巻 尚洋、
中里 和彦、石田 隆史、竹石 恭知

54 COVID-19 mRNA ワクチン接種後心筋心膜炎が疑われた1例

みやぎ県南中核病院 循環器内科

○山岸 優太、井汲 陽祐、小松 茉由、玉那覇有亮、武内 広樹、高橋 亮吉、
田中 修平、伊藤 愛剛、塩入 裕樹、富岡 智子

55 新型コロナウイルスワクチン接種後に発症した心筋炎の2例報告

仙台市医療センター仙台オープン病院

○小山あずさ、谷田 篤史、小野寺健太、砂村慎一郎、尾形 剛、野田 一樹、
瀧井 暢、浪打 成人、澤井 高志

心筋疾患・腫瘍2（第4会場：2F 桜2）10：17～10：59

座長 大原 貴裕（東北医科薬科大学）
鈴木 秀明（東北大学）

56 経皮的中隔心筋焼灼術（PTSMA）が有効であった閉塞性肥大型心筋症（HOCM）の一例

¹ 山形県立中央病院 初期臨床研修医

² 山形県立中央病院 循環器内科

○島田 佳林¹、高橋 克明²、中村 元治²、村形 寿彦²、長谷川寛真²、佐々木真太郎²、
大道寺飛雄馬²、玉田 芳明²、福井 昭男²、矢作 友保²、松井 幹之²

57 オシメルチニブによるCTRDT（がん治療関連心機能障害）を発症した1例

福島県立医科大学 循環器内科学講座

○大原妃美佳、片平 正隆、武藤 雄紀、三浦 俊輔、小林 淳、竹石 恭知

58 乳癌にエピルビシン、トラスツマブ投与後、心機能が低下し、心不全治療後にトラスツマブを再開した一例

¹ 東北医科薬科大学病院循環器科

² 東北医科薬科大学乳腺外科

○関口 祐子¹、熊谷 浩司¹、黒瀬 裕樹¹、長谷川 薫¹、住吉 剛忠¹、菊田 寿¹、
亀山 剛義¹、山家 実¹、中野 陽夫¹、小丸 達也¹、鈴木 昭彦²

59 難治性心室頻拍が心臓腫瘍の顕在化に先行して認められた紡錘細胞型転移性横紋筋肉腫の一例

¹ 東北大学 循環器内科学、² 富山県立中央病院 循環器内科

³ 筑波大学 循環器内科、⁴ 東北大学 放射線診断科、⁵ 東北大学 病理部

⁶ 東北大学 放射線治療科、⁷ 東北大学 腫瘍内科、⁸ 東北大学 心臓血管外科

○照井 洋輔¹、鈴木 秀明¹、近田 明男²、花木 裕一³、小松 雄樹³、大田 英揮⁴、
藤島 史喜⁵、梅澤 玲⁶、大内 康太⁷、佐藤 遥¹、佐藤 大樹¹、山本 沙織¹、
矢尾板信裕¹、林 秀華¹、後岡広太郎¹、高濱 博幸¹、野上 昭彦³、齋木 佳克⁸、
安田 聡¹

60 左房内腫瘍により心原性ショックを呈した一例

竹田総合病院

○鈴木 喜敬、渡部 瞬、上田 捷太、安藤 卓也、鈴木 聡

61 僧帽弁に陥頓する巨大左房粘液腫に対して緊急手術を施行した一例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○須藤 芽維、横山 公章、對馬 迪子、妹尾麻衣子、市川 博章、西崎 史恵、
澁谷 修司、花田 賢二、富田 泰史

ダイバーシティ推進フォーラム

(第5会場：3F 白檜) 10:50～12:00

「自分流！循環器医の work style」

座長：

弘前大学医学部附属病院 総合臨床研修センター 西崎 史恵 先生

演者：

福島県立医科大学 循環器内科 黒沢 雄太 先生

能代厚生医療センター 循環器内科 柳澤 和哉 先生

理化学研究所・東北大学循環器内科 黒澤 亮 先生

審査会・会議

学生初期研修 AWARD 審査会	10 : 00 ~ 10 : 30	(第 6 会場)
心肺蘇生法普及委員会	10 : 40 ~ 10 : 55	(第 6 会場)
YIA 審査会	11 : 00 ~ 11 : 30	(第 6 会場)
支部役員会	11 : 30 ~ 12 : 00	(第 6 会場)
支部評議員会・YIA 授賞式及び		
学生初期研修医 AWARD 授賞式	12 : 00 ~ 12 : 30	(第 1 会場)

教育セッション

● 教育セッション I (外科治療)

12:40 ~ 13:25 (第1会場: 2F 橘)

座長: 東北医科薬科大学内科学第一 (循環器内科) 小丸 達也 先生

「これからの外科的冠血行再建を考える」

東北医科薬科大学心臓血管外科学教授 川本 俊輔 先生

● 教育セッション II (基礎研究)

13:25 ~ 14:10 (第1会場: 2F 橘)

座長: 東北大学大学院循環器内科学分野 安田 聡 先生

「低酸素障害としてのCKDの病態」

東北大学大学院医学系研究科腎・膠原病・内分泌内科学分野教授
田中 哲洋 先生

共催学術セミナー

- 学術セミナー1 14:20～15:20 (第1会: 2F 橘)

座長: 福島県立医科大学 竹石 恭知 先生

「循環器臨床研究でよく用いられる統計手法」

兵庫医科大学臨床疫学 教授 森本 剛 先生

「冠動脈プラークの画像評価によるイベント発症リスクの
階層化: 介入強度の個別化を見据えて」

岩手医科大学循環器内科学分野 森野 禎浩 先生

共催: 第175回日本循環器学会東北地方会
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
ファイザー株式会社

- 学術セミナー2 14:20～15:20 (第2会場: 2F 萩)

座長: 弘前大学 富田 泰史 先生

「Onco-Cardiology ～CATのマネジメント～」

国際医療福祉大学 循環器内科学 教授 杉村宏一郎 先生

共催: 第175回日本循環器学会東北地方会
バイエル薬品株式会社

- 学術セミナー3 14:20～15:20 (第3会場: 2F 桜1)

座長: 山形大学 渡辺 昌文 先生

「ダパグリフロジン適応追加がもたらす循環器診療へのインパクト」

森山記念病院循環器内科循環器センター長
東京大学医学部附属病院 循環器内科 清末 有宏 先生

共催: 第175回日本循環器学会東北地方会
アストラゼネカ株式会社
小野薬品工業株式会社

● 学術セミナー 4

14:20～15:20 (第4会場: 2F 桜2)

座長: 東北大学 齋木 佳克 先生

「非移植施設で実践する重症心不全診療
～DT時代の心不全連携医療を考える～」

岩手県立中央病院 循環器内科医長 三浦 正暢 先生

共催: 第175回日本循環器学会東北地方会
ニプロ株式会社

● 学術セミナー 5

14:20～15:20 (第5会場: 3F 白檀)

座長: 秋田大学 渡邊 博之 先生

「心不全パンデミックに立ち向かう
～理想と現実の狭間で我々が今できること～」

北海道大学大学院医学研究院循環病態内科学教室 准教授
永井 利幸 先生

共催: 第175回日本循環器学会東北地方会
ヴィアトリス製薬株式会社

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総 則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会 員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員 / 支部特別会員 / 支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社 員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事および JCS-ITC 担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。

4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会 / 社員総会において会計報告及び JCS-ITC 業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第 10 条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法 / 任期 / 定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理 / 事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要 (事後確認可) とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要 (事後確認可) とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附 則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。
 - 1) 規程について正しい知識がなかったこと
 - 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
 - 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規程は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部運営内規

平成 28 年 4 月 1 日施行
令和 2 年 8 月 23 日改定

(総 則)

第 1 条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会支部規程を東北支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第 2 条 本支部における支部事務局を東北大学大学院医学系研究科循環器内科学内に設置する。

(支部長・副支部長)

第 3 条 2 年毎に行われる理事選出選挙の後、第 6 条 2 項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は理事就任開始日からとする。

2. 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
3. 支部長が本支部とは別の支部に異動した場合、支部長として退任となる。

第 4 条 本支部に副支部長 1 名を置く。

2. 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長に事故あるとき、または支部長が別支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。

(支部役員)

第 5 条 支部役員は、支部規程第 7 条 1 項に沿い、支部所属理事の他、支部長推薦枠として本支部においては、会員である東北地区 7 大学の循環器を担当する内科の教授が就任することとする。その他にも支部役員として必要な人物がいる場合は、支部長が推薦する。

2. 任期中において各大学教授の交代があった場合は役員も変更となるが、就任期間は前任者を引継ぐこととする。
3. 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第 6 条 支部規程第 8 条 1 項に定める支部監事の定数は、本支部においては 2 名とする。

2. 支部規程第 8 条 2 項に定める支部監事の選出について、本支部においては、支部運営から独立性をもった者を、支部長が候補者を会員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
3. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第 7 条 支部規程第 9 条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事 1 名、JCS-ITC 担当幹事 1 名、その他幹事を若干名とし、支部役員、支部評議員との兼務も可能とする。

2. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
3. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
4. JCS-ITC 業務担当幹事は、会員かつファカルティーの中から選出することとする。ファカルティーがない場合は会員かつコースディレクターの中から選出する。

5. 支部幹事は、それぞれの業務において投資が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

第8条 支部規程第10条に定める支部評議員は、支部役員1名の推薦により選出し、支部役員会及び支部社員総会において承認する。

2. 候補者は、支部役員会予定日より15日以前に所定の用紙を用いた履歴書、業績書及び支部役員1名が署名・捺印した推薦書を支部長へ提出する。
3. 支部評議委員会に正当な理由なく3回連続して欠席した者、退会した者、東北地区から移動した者は、支部評議員の資格を喪失する。
4. 支部評議員の任期は4年とし再任は妨げない。
5. 支部評議員の辞職は支部役員会及び支部社員総会において承認する。
6. 支部評議員の期中での辞職については、速やかに補充を行うこととし、支部役員会にて承認した上で、後日支部社員総会において追認する。なお任期は前任者を引継ぐこととする。

(地方会会長)

第9条 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」に定められた内容を遵守しなければならない。

2. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
3. 地方会会長は、地方会開催日程の決定を行う。
4. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
5. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
6. 地方会運営にあたる企画会社の選定は、会長一任とするが、企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
7. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設しなければならない。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
8. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部名誉会員)

第10条 支部規程第4条2項に定める支部名誉会員は、東北地区単独の支部社員総会において選任する

2. 支部名誉会員の被推薦資格は、支部社員総会開催日において年齢65歳以上（当日に65歳を迎える者を含む）の東北支部所属の会員であり、支部評議員を3期以上務めたものとする。
3. 支部名誉会員は、支部評議委員会に出席することができる。また、支部社員総会にも出席することができるが議決権は有しない。
4. 支部名誉会員は、支部役員、支部幹事の兼務を不可とする。
5. 支部名誉会員は、永年資格とする。
6. 支部名誉会員の内、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者は、支部特別名誉会員と呼ぶ。処遇は支部名誉会員に準用する。

(支部社員総会、支部評議員会)

第11条 支部規程第13条に定める支部社員総会、支部規程第14条の支部評議員会は、同時開催することとする。

(支部事務局業務)

第 12 条 支部規程第 15 条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

(地方会)

第 13 条 支部規程第 16 条 1 項に定める地方会について、本支部は原則として毎年 2 回地方会を開催する。

2. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会東北地方会とする。
地方会運営に関するその他の事項は地方会運営要領に定めることとする。

(JCS-ITC 講習会)

第 14 条 支部規程第 17 条 1 項に定める JCS-ITC 講習会について、本支部は JCS-ITC 業務担当幹事との協議により支部事務局において事務業務（受講者への連絡、受講料受付・謝金や立替金の精算 等）を行う。なお、これらの事務業務について、円滑に業務を遂行することを目的として、支部役員会の承認のもと、外部業者へ業務委託を行っても構わない。委託範囲・経済条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

2. JCS-ITC 講習会の事務業務については JCS-ITC 講習会事務要領に定めることとする。

附則

- 1) この内規は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 地方会運営要領

平成 28 年 4 月 1 日施行
令和 3 年 6 月 5 日改定

この地方会運営要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という）において地方会を円滑に運営するために必要な事項を規定する。

(広 報)

1. 地方会会長は、地方会開催日程、会場、地方会会長事務局の担当者が決まり次第、本支部へ報告する。本支部は「地方会開催連絡票」を本会へ提出するとともに、本支部ホームページに情報を掲載することとする。
2. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。

(会 計)

3. 地方会会長、または、支部事務局担当幹事は、開催前年度の支部役員会・支部社員総会に出席して、本部へ提出予定の地方会予算及び事業計画について事前に承認を得る。また、支部評議員会にて報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる
4. 地方会参加費は、正会員 3,000 円、コメディカル 1,000 円、初期研修医無料、学部学生無料とする。参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
5. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。なお寄付金受入先について、本会が禁煙宣言を行っている学会であることを鑑み、本会学術集会同様、日本たばこ産業・鳥居薬品からの寄付受入は禁ずる。
6. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部よりその経費を補助する。ただし、上限を 100 万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
7. 地方会において男女共同参画セミナーを実施する場合は、本支部より講師招請経費を補助する。ただし上限を 20 万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
8. 地方会開催にあたり開設する金融機関の口座名義は、「一般社団法人日本循環器学会 第〇〇回東北地方会 会長 〇〇〇〇」とする。
9. 地方会当日の現金（参加費）の取扱いについて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会当日に徴収した参加費について、当日中に口座入金するか金庫に保管することとする。地方会終了後、翌営業日には口座入金することとする。
11. 教育講演の招請者への待遇について、謝金上限は演者 100,000 円（源泉税抜）、座長 50,000 円（源泉税抜）、交通費は実費支給とし、地方会当日、直接本人へ現金もしくは振込対応する。これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
12. 地方会で支払われた講演謝金及び会長校スタッフ臨時雇用費の源泉所得税は、地方会会長事務局において納付対応する。なお東北支部事務局から参加したスタッフ臨時雇用費は、東北支部事務局において納付対応する。
13. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
14. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会繰越金専用口座に振り込むこととし、地方会開催に関係無い備品等の購入に充ててはならない。その後、口座は解約する。

15. 地方会の経費精算は、原則地方会終了後2か月以内に完了させ、入出金に係るすべての証憑を本支部に提出しなければならない。外部の団体から助成金・補助金を受けた場合は、交付決定通知書の控えも提出すること。
16. 地方会会長は、開催次年度の支部役員会・支部社員総会、支部評議員会に出席して、地方会決算及び事業内容の報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる。

(会議)

17. 支部役員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部事務局が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
18. 支部社員総会、支部評議員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
19. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。

(演題募集)

20. 地方会会長は、演題募集スケジュールを決定し、「地方会演題募集ホームページ利用申請書」を本会及び本支部へ提出する。演題募集の開始日・締切日は前後に祝日のない火曜日から木曜日で設定すること。申請書の提出期限はオンライン演題募集システム利用開始の2カ月前とする。
21. 本支部は、オンライン演題募集システムの管理者用ID及びパスワードを地方会会長事務局へ通知する。なお、パスワードについては、本支部が毎年度更新することとし、変更後のパスワードを本会に通知する。
22. 募集締切日延長等の連絡は、混乱を避けるために必ず本会経由で行うこととする。

(専門医単位登録)

23. 地方会会長は、詳細が決まり次第「教育セッション開催届」ならびに「DVDセッション開催届」(DVDセッションを開催する場合に限る)を本会及び本支部へ提出しなければならない。
24. 地方会会長事務局は、地方会時に専門医単位登録(地方会参加5単位、教育セッション参加3単位、DVDセッション参加2単位)を行うこととするが、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
25. 教育セッション及びDVDセッションの専門医単位登録は、不正やミスを防止するため、時間を限定して行わなければならない。(例:セッション開始1時間(又は30分)前から終了30分前)
26. DVDセッションについて、同じ内容の講演会を学術集会及びインターネットで聴講したことのある会員は、単位加算ができない。地方会会長は事前にプログラム等でその旨を告知し、当日も会場に掲示すること。

(プログラム・抄録)

27. プログラムは、本会会告(偶数月25日発行)への抱き合わせで本支部会員へ発送することができる。希望する場合は、「地方会プログラム冊子抱合発送申請書」を本会及び本支部へ提出すること。プログラム以外の発送物(チラシ等)があれば、その内容を申請書に明記すること。申請書の提出期限は、会告発行1か月前とする。
28. 抄録については、冊子発行を行わず本会ホームページに掲載する。本会ホームページへの掲載にあたり、抄録著者による校正は行わない。訂正等がある場合には、地方会終了後速やかに本会へ連絡することとする。なお、地方会会長事務局は、その旨をプログラムに記載し会員に告知すること。
29. プログラム完成後、本支部へ2部、本会へ5部を送付すること。
30. 地方会会長は、抄録データを本会に提出しなければならない。当日発表されなかった演題は抄録データとして扱わない。

(演題発表)

31. 地方会演者は、発表前のスライドにおいて定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
32. 日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award について
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA「症例発表部門」「研究発表部門」)を設ける。
 - 2) 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
 - ① 応募資格
日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下の方。
東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。
 - ② 対象演題
日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に 1 施設 2 題(ただし 1 科 1 演題)までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。
 - ③ 選考方法
地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。
 - ④ 会長奨励賞
YIA 希望演題の内、一般病院の演題から 1 題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。
 - ⑤ 応募方法
一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。
 - ⑥ 賞
部門毎に最優秀賞 1 名(賞金 10 万円)および優秀賞若干名(賞金 5 万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。会長奨励賞は 1 名(賞金 5 万円と表彰状)。
 - ⑦ 締切り
一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。
 - 3) YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の 6 名の選考委員については大会長が再度選出する。
33. 日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD について
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD」を設ける。
 - 2) 東北地方会 学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。

ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。

① 応募資格

各地方会開催日において学生・初期研修医の方（日循会員の有無は不問）。

東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARD を受賞した者は、再応募はできない。

② 対象演題

筆頭演者である応募者が担当医として治療を行った症例報告もしくは重要な役割を果たした研究で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1施設2題（ただし1科1演題）までの応募とする。

③ 選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

④ 応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募する」にチェックを入れ応募する。

⑤ 賞

最優秀賞1名（賞金10万円）および優秀賞若干名（賞金5万円）と表彰状。同点の場合は要検討とする。

⑥ 締切り

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

- 3) 研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科准教授／講師／助教より6名と、大会長が選出する6名の選考委員（循環器専門医研修施設より選出）の計12名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

（その他）

34. 会員への印刷物送付等の必要が生じた場合、本会へ「会員名簿・あて名作成依頼書」を提出して会員名簿及び宛名ラベルを請求することができる。会員情報のデータでの受け取りは原則不可とするが、例外的に申請する場合は、誓約書に会長の署名及び捺印が必要となる。
35. 地方会開催校については、公平を期すため各県で順番に開催する。なお、その順番等の変更については、支部役員会にて決定する。

附 則

- 1) この要領は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。この要領改正は、支部長の判断に基づき、支部事務局にて変更して良い。なお、変更時は、支部役員会での追認が必要となる。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 JCS-ITC 講習会事務要領

この事務要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部事務局において JCS-ITC 事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）を行うために必要な事項を規定する。

日本循環器学会は AHA(アメリカ心臓協会)と契約し、心肺蘇生法の教育を行う JCS-ITC(国際トレーニングセンター)を開設している。循環器専門医は心停止や心停止前後での蘇生や心拍再開後の集中治療を必要としていることから、AHA ACLS(二次救命救急措置)の資格取得を受験の条件としている。

また、医療従事者や一般市民向けのコースも開催しており、地域の救命率向上を目指していることから支部にてコース運営を行っており、それに付随する事務業務も支部事務局にて行っている。

※支部運営内規 第 6 条 3 にて定められる JCS-ITC 業務担当幹事はファカルティから選出される。

ファカルティは各コースの運営統括責任者であり、新たなインストラクターを教育する立場である。

1. 年 4 回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
2. コース開催日程は、支部ホームページに掲載することとする。
3. コース募集期間中、コースディレクター（以下、CD と略す）と連携を取り、受講者からの問い合わせ対応を行うこと。
4. 下記内容についての受講者への連絡を行うこと。
採択通知、追受講者の代理登録（CD より指示があった場合）、会場変更、コース中止
5. 講習会管理システムから受講者を確認し、受講者からの受講料入金確認を行うこと。規定日までに入金を確認できない場合には、入金の督促を行うこと。
6. 受講者より受講料領収書の発行依頼があった場合の発行手続きを行うこと。
7. 支部担当者が交代する場合には業務内容を明確の上、後任者へ引継ぎを行い、業務に支障が生じないようにすること。また支部担当者が急病等で業務を行えない場合は、事務局担当幹事より JCS-ITC 業務幹事に速やかに連絡をし、JCS-ITC 業務幹事と支部長において今後の対応を検討すること。
8. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。
9. 専用口座は、通帳管理者・印鑑管理者・キャッシュカード使用者（作成している場合のみ）を明確にし、一覧にして支部長へ提出しなければならない。（一覧に変更が生じた場合は随時、見直しを行い更新の上、提出する。）
10. 専用口座の通帳、印鑑は、使用者が施錠出来る場所に必ず保管しなければならない。また、キャッシュカード、パスワードについては使用者が変更となる度に変更しなければならない。
11. コース開催時にコースディレクター等が昼食代等の立替精算をした場合、必ず領収書（レシート可）を入手し、何を購入し、何に利用したのか、誰が立替えしたのか、分かるように領収書に記載（メモ書き可）の上、支部事務局へ提出すること。なおコース運営が参加者の受講料から成り立っていることを鑑み、不必要な経費支出は行ってはならない。
12. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクと各自立替えしたコース開催地までの交通費について、支部事務局へ報告しなければならない。支部事務局はコースディレクターからの報告に基づき、インストラクター・タスク一覧を作成する。
13. 各コースディレクターがコースに必要な資金を前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 業務担当幹事のメール承認を要する。
なお、JCS-ITC 業務担当幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
14. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。

15. 支部事務局は、インストラクター・タスク一覧、提出された旅費申請書、領収書等に基づき、謝金(交通費・宿泊費含む)・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。(謝金金額については本会、救急医療委員会において定められたとおりとする。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。)
16. 支部事務局は、収入・経費を取纏め(漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認)の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。
17. JCS-ITC 講習会運営専用口座で余剰金が 1000 万円を超えた場合、支部の JCS-ITC 講習会専用口座に資金を移行する。

附 則

- ・この要領は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- ・この要領改正は、支部役員会での決定を必要とする。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

平成 28 年 4 月 1 日施行
平成 30 年 6 月 2 日改定

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設ける。
2. 本会則は平成 21 年 2 月 14 日に開催される第 147 回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の教授が交代で務めることとする。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の 6 名の選考委員については大会長が再度選出する。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award (東北地方会 YIA)

演題応募要領

趣 旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下の方。

東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に 1 施設 2 題(ただし 1 科 1 演題)までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

会長奨励賞

YIA 希望演題の内、一般病院の演題から 1 題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

賞

部門毎に最優秀賞 1 名(賞金 10 万円)および優秀賞若干名(賞金 5 万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。

会長奨励賞は 1 名(賞金 5 万円と表彰状)。

締 切

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD 会則

2019年12月1日施行
2021年6月5日改定

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な研修医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会学生・初期研修医 AWARD」を設ける。
2. 本会則は 2019 年 6 月 1 日に開催される第 168 回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会学生・初期研修医 AWARD の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. 研修医 AWARD 選考委員会は会長校の准教授を選考委員長として、各県大学の循環器内科准教授／講師／助教より 6 名と、大会長が選出する 6 名の選考委員（循環器専門医研修施設より選出）の計 12 名で構成される。ただし、宮城県に於いては東北大学と東北医科薬科大学の准教授が交代で務めることとする。

日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD

演題応募要領

趣 旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD」を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において学生・初期研修医の方。
東北地方会において過去に学生・初期研修医 AWARD を受賞した者は、再応募はできない。

対象演題

筆頭演者である応募者が担当医として治療を行った症例報告もしくは重要な役割を果たした研究で、演題募集締切日までに他の学会で未発表かつ印刷公表されていない演題内容を対象とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、1施設2題（ただし1科1演題）までの応募とする。

選考方法

地方会演題募集時に学生・初期研修医 AWARD 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とするセッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される審査委員会において厳重な審査を行う。なお、希望演題数が5題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。学生・初期研修医 AWARD 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「学生・初期研修医 AWARD に応募する」にチェックを入れ応募する。

賞

最優秀賞1名(賞金10万円)および優秀賞若干名(賞金5万円)と表彰状。同点の場合は要検討とする。

締 切

一般演題締切日と同日とする。
一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

第 175 回日本循環器学会東北地方会 YIA 審査委員

(敬称略)

県	施設名	所 属	名 前
青 森	弘前大学大学院医学研究科	循環器腎臓内科学講座	富田 泰史
青 森	つがる総合病院	循環器・呼吸器・腎臓内科	阿部 直樹
岩 手	岩手医科大学内科学講座	循環器内科分野	森野 禎浩
岩 手	岩手県立二戸病院	循環器内科	西山 理
秋 田	秋田大学大学院医学系研究科	循環器内科学講座	渡邊 博之
秋 田	市立秋田総合病院	循環器内科	阿部 芳久
山 形	山形大学医学部	内科学第一講座	渡辺 昌文
山 形	山形県立中央病院	循環器内科	松井 幹之
宮 城	東北医科薬科大学	内科学第一 (循環器内科)	小丸 達也
宮 城	仙台オープン病院	循環器内科学	浪打 成人
福 島	福島県立医科大学	循環器内科学講座	竹石 恭知
福 島	大原総合病院	循環器内科	齋藤 修一

第 175 回日本循環器学会東北地方会 学生・初期研修医 AWARD 審査委員

(敬称略)

県	施設名	所 属	名 前
青 森	弘前大学大学院医学研究科	循環器腎臓内科学講座	佐々木真吾
青 森	青森県立中央病院	循環器内科	櫛引 基
岩 手	岩手医科大学	医学教育学講座地域医療学分野	伊藤 智範
岩 手	岩手県立胆沢病院	循環器内科	八木 卓也
秋 田	秋田大学大学院医学系研究科	医学教育学講座	長谷川仁志
秋 田	秋田厚生医療センター	循環器内科	松岡 悟
山 形	山形大学 医学部	内科学第一講座	渡邊 哲
山 形	山形市立病院済生館	循環器内科	宮脇 洋
宮 城	東北医科薬科大学	内科学第一 (循環器内科)	熊谷 浩司
宮 城	仙台医療センター	循環器内科	篠崎 毅
福 島	福島県立医科大学	循環器内科学講座	八巻 尚洋
福 島	白河厚生総合病院	循環器内科	齋藤 富善

日本循環器学会東北支部役員 (令和4年7月現在)

支 部 長	渡辺 昌文 (山形大学)			
副 支 部 長	安田 聡 (東北大学)			
理 事	渡辺 昌文 (山形大学)			
	安田 聡 (東北大学)			
支 部 役 員	竹石 恭知 (福島県立医科大学)	森野 禎浩 (岩手医科大学)		
	富田 泰史 (弘前大学)	金 一 (岩手医科大学)		
	渡邊 博之 (秋田大学)	飯野 貴子 (きびら内科クリニック)		
	齋木 佳克 (東北大学)	堀内 久徳 (東北大学)		
	安田 聡 (東北大学)	小丸 達也 (東北医科大学)		
	富岡 智子 (みやぎ県南中核病院)	渡辺 昌文 (山形大学)		
名誉特別会員	伊藤 宏	白土 邦男	平 則夫	中村 元行
	丸山 幸夫	久保田 功	下川 宏明	
名誉支部員	青木 孝直	芦川 紘一	池田 こずえ	池田 精宏
	石出 信正	石橋 敏幸	伊藤 貞嘉	猪岡 英二
	今井 潤	大和田 憲司	岡林 均	金谷 透
	小熊 正樹	長内 智宏	小野 幸彦	加賀谷 豊
	門脇 謙	金澤 正晴	金塚 完	上月 正博
	木島 幹博	小岩 喜郎	後藤 敏和	小林 政雄
	齋藤 公男	齋藤 崇	佐々木 弥	貞弘 光章
	佐藤 昇一	佐藤 匡也	瀬川 郁夫	高松 滋
	立木 楷	田中 元直	田巻 健治	田代 敦
	田村 芳一	野崎 英二	福田 幾夫	藤野 安弘
	前原 和平	三国谷 淳	室井 秀一	元村 成
	盛 英機	保嶋 実	柳澤 輝行	山本 文雄
	渡辺 毅			
支部評議員	各県ごと五十音順、○印は社員 (旧：全国評議員)			
青	森	阿部 直樹	木村 正臣	櫛引 基
		齋藤 新	大徳 和之	○富田 泰史
		花田 裕之	松井 宏光	皆川 正仁
		横田 貴志	横山 公章	
岩	手	石田 大	○伊藤 智範	遠藤 秀晃
		木村 琢巳	○金 一	熊谷 亜希子
		高橋 智弘	中村 明浩	西山 理
		三浦 正暢	○森野 禎浩	八木 卓哉
秋	田	○阿部 芳久	飯野 健二	○飯野 貴子
		佐藤 誠	鈴木 智人	鈴木 泰
		武田 智	寺田 健	豊野 学朋
		藤原 敏弥	堀口 聡	松岡 悟
山	形	有本 貴範	池野 栄一郎	内田 徹郎
		穴戸 哲郎	菅原 重生	須藤 直行
		新関 武史	西山 悟史	野崎 直樹
		福井 昭男	松井 幹之	宮本 卓也
		○渡邊 哲	○渡辺 昌文	
宮	城	伊藤 健太	岩渕 薫	大原 貴裕
		菊地 翼	熊谷 浩司	○小丸 達也
		西條 芳文	佐藤 公雄	篠崎 毅
		高橋 潤	高濱 博幸	建部 俊介
		中野 誠	野田 崇	後岡 広太郎
		○堀内 久徳	矢尾 板信裕	○安田 聡
		山家 智之		
福	島	石田 隆史	大和田 尊之	金城 貴士
		小松 宣夫	齋藤 修一	斎藤 富善
		杉本 浩一	○竹石 恭知	武田 寛人
		八巻 尚洋	横山 斉	義久 精臣
		那須 雅孝	前原 和平	
会 計 監 事		支部事務局担当幹事：高橋 潤 (東北大学)		
幹 事		JCS-ITC講習会担当幹事：花田 裕之 (弘前大学)		

日本循環器学会東北支部

各種委員会 委員名簿 (令和4年6月現在)

* 委員長

ダイバーシティ推進委員 (旧 男女共同参画委員)

* 西崎 史恵 (青森)	相馬 宇伸 (青森)	小島 香 (岩手)	那須 崇人 (岩手)
岩川 英弘 (秋田)	梅田 有理 (秋田)	有本 貴範 (山形)	渡部 賢 (山形)
齋藤 悠司 (山形)	富岡 智子 (宮城)	西宮 健介 (宮城)	佐藤 遥 (宮城)
肱岡奈保子 (福島)	喜古 崇豊 (福島)		

オブザーバー

熊谷亜希子 (岩手)	八木 卓也 (岩手)	後岡広太郎 (宮城)	杉 正文 (福島)
------------	------------	------------	-----------

心肺蘇生法普及委員

花田 裕之 (青森)	西崎 史恵 (青森)	鈴木 智人 (秋田)	深堀 耕平 (秋田)
及川 浩平 (岩手)	照井 克俊 (岩手)	* 渡辺 昌文 (山形)	金谷 透 (山形)
宮本 卓也 (山形)	篠崎 毅 (宮城)	羽尾 清貴 (宮城)	水上 浩行 (福島)
阿部 諭史 (福島)			

成人先天性心疾患部会委員

大徳 和之 (青森)	大谷 勝記 (青森)	金城 貴彦 (青森)	高木 大地 (秋田)
豊野 学朋 (秋田)	寺田 健 (秋田)	小泉 淳一 (岩手)	齋木 宏文 (岩手)
上田 寛修 (岩手)	水本 雅弘 (山形)	安孫子雅之 (山形)	西山 悟史 (山形)
* 齋木 佳克 (宮城)	帯刀 英樹 (宮城)	多田 憲生 (宮城)	建部 俊介 (宮城)
若松 大樹 (福島)	桃井 伸緒 (福島)	及川 雅啓 (福島)	

第175回 日本循環器学会東北地方会 一般演題抄録

- YIA 症例発表部門 (1 ~ 5)
- YIA 研究発表部門 (6 ~ 10)
- 学生・初期研修医 AWARD (11 ~ 15)
- 動静脈疾患 (16 ~ 19)
- 冠動脈疾患 (20 ~ 26)
- 不整脈 (27 ~ 39)
- アブレーション (40 ~ 44)
- 心不全・弁膜症 (45 ~ 49)
- 心筋疾患・腫瘍 (50 ~ 61)

令和4年12月3日 仙台国際センター

会 長：小丸 達也

東北医科薬科大学内科学第一 (循環器内科)